

**答** 和解時には当時の職員は退職し、職員を対象とした地方公務員法の規定を外れ、処分できなかった。

**大場康議（自由クラブ）**

**蒲郡市の基金運用は**

**問** 本市は15の基金を担当部署ごとに管理しているが、豊橋市等では一元化して運用することで運用益が増加していると聞く。本市でも一元化した運用をすることを考える。

**答** 基金運用の一元化については、総務部長、財務課長等で構成されている市資金管理運用委員会で、



その方法やメリット等について研究をしていきたい。

**今後の公共施設の在り方は**

**問** 既存の公共施設のマネジメントに関する基本方針の策定期期と、その後の進め方について伺う。

**答** 平成27年度中に基本方針の策定を行い、28年度から実施計画を全市のな視点で策定していく予定をしている。

**伊藤勝美（公明党）**

**防災・減災10プログラムの取り組みを**

**問** 防災・減災の意識の高揚と持続のため、幼少期から反復して防災・減災教育をする必要があると考えている。5歳の園児から中学3年の15歳までの10年間を枠組みとした教育プログラムに取り組みを考えた。

**答** 防災部局、消防部局、教育機関が共通の認識を持って連携し、このプログラムの実現に取り組むこ



とが大切だと考えている。

**ペット連れの防災訓練を**

**問** ペット連れの防災訓練はトラブル等の心配があるということだが実際に訓練することも必要と考えている。ペット連れの防災訓練の開催について伺う。

**答** 今年度の防災訓練では新しい試みとして犬の参加を提案していきたい。

**鎌田篤司（自由クラブ）**

**ラグーナ地区のまちづくりは**

**問** ラグーナテンボスとなり来場者の増加に伴い

渋滞等も増えている。今後の環境整備について伺う。

**答** 県は26年度より臨港道路の改良等を計画し、また、市も27年度、上下水道等の工事を予定している。

**問** オリンピック招致の結果を受け、今後どのように蒲郡に生かすのか。

**答** 結果は残念だが、うみのまちは蒲郡のPRはできた。江ノ島の開催にも課題があると聞き、仮に開催困難となれば蒲郡での開催を引き続き歓迎している。

**安全安心の取り組みを**

**問** 空き家対策に関係各課でチームを作り連携して対応していく考えは。

**答** 交通防犯課のほか消防等関係6課で対応する。

**鈴木貴晶（自由クラブ）**

**緊急時の市民への周知・対応について**

**問** 行方不明者の搜索等に防災行政無線子局をさらに活用すべきと考えるが、



防災行政無線子局

**答** 屋外拡声器としての個別使用は、要綱に基づき総代が申請し、市が使用の許可をする。地元の判断で活用が可能となっている。

**プロ契約を結んだ職員採用は**

**問** 本市のPRのため、プロ契約を結んだ職員の採用や職員がプロ契約を結んだ場合の考えは。

**答** 公務員は法律により営利企業等の従事制限があるが、市長の許可により従事可能となる。プロ契約を結んだ方の活動が職務に支障が無く、市に貢献ができる活動であれば採用は可能だと考えているが、個別に判断をしていきたい。